



「ごあいさつ」

新潟市 こども未来部長

高橋 昌子 様



令和五年四月より、新潟市こども未来部長に就任しました高橋昌子です。平成二十七年までには区の健康福祉課に在籍し、私立保育園の皆様には地域の子育て支援に、大変ご協力をいただきました。今年度から当職に就き、本市の保育行政に再びたずさわることとなりました。貴会の皆さま

のご協力をよろしくお願いいたします。

全国的に少子化の深刻さは増しており、本市でも、令和四年の出生数は、五千人を割り込みました。想定を上回るスピードで少子化が進む中、教育・保育施設の入園児童数は令和二年度をピークに減少が続いています。

また、保育人材不足や物価高騰の影響など、教育・保育施設を取り巻く環境は、いっそう厳しさを増していると認識しています。

国においては、令和五年四月に「こども家庭庁」が発足し、「こどもまんなか社会」の実現に向け、本格的に動き出しました。

本市では、令和五年度から新たな総合計画がスタートし、子どもと子育てにやさしいまちを目指し、ライフステージに応じた切れ

目ない支援により、希望する人が安心して結婚し、子どもを産み育てられるよう取り組んでいます。

教育・保育に関しては、良質な環境の確保に向け、市立保育園の適正配置や保育人材の確保の取組みを進めるとともに、多様なニーズに応える保育サービスの充実を図ってまいります。

また、市全体の保育の質の向上に向け、各区の連携拠点園を中心とした取り組みとともに、デジタル技術を活用して、現場の負担軽減と働きやすい職場づくりを進めていきます。

今後も、子どもたちの健やかな育ちのため、貴会の皆さまと市がさらに連携を深めるとともに、皆さまがこれまで培われてきた知識や経験を生かし、引き続きご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

